



同窓会報

創立110周年記念号

NO.14

平成29年
8月1日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>



創立110周年記念式典

平成29年5月13日(土)一関文化センター大ホールにおいて本校の同窓生竹本恵子様の司会進行により『創立110周年記念式典』が盛大に挙行されました。当日はあいにくの雨にもかかわらず来賓の方々をはじめ多くの同窓生や関係者が来場し本校の歴史に花を添えました。式典では本校の活動にご尽力いただいた方々への表彰が執り行われ、これまでのご功績に感謝するとともに今後の本校の発展へ更なる後力添えをいただくことをお誓いいただきました。

同式典ならびに記念事業の開催にあたりご協力いただきました関係各位の皆様方、また、多くの同窓生の方々に心から感謝の意を表するとともに、今後も母校発展のため皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



司会 竹本恵子様



歴代校長代表 高橋秀幸様



前同窓会長 佐藤正様



【表彰者】

(歴代校長)

第27代校長	高橋秀幸様
第28代校長	酒井久美子様
第29代校長	咲山正明様
第30代校長	佐々木啓様

(歴代同窓会会長)

前同窓会長	佐藤正様
-------	------

(歴代PTA会長)

平成19年度PTA会長	大立目勇次様
平成20年度PTA会長	佐藤正彦様
平成21年度PTA会長	千葉周司様
平成22年度PTA会長	千葉多嘉男様
平成23年度PTA会長	伊藤晋様
平成24・25年度PTA会長	佐藤栄一様
平成26年度PTA会長	若山義典様
平成27年度PTA会長	菅原幹成様

(学校医・警備員・各部コーチ)

学校医(耳鼻科)	小岩哲夫様
学校警備員	高橋四五六様
学校警備員	金野浩様
茶華道部師範	千葉久美子様
学校技術員	高橋清人様

創立110周年記念事業 生徒演奏発表会

記念式典に続き『生徒演奏発表会』と題して本校文化部の『太鼓道場部』『音楽部』『吹奏楽部』のステージ発表がありました。定期公演等各部とも精力的に活動していることもあり一般も含め会場は多くの来場者で賑わいました。発表会の進行は『演劇部』が務め、初代校長鈴木勝二郎先生に扮する配役を取り入れた大変ユニークかつテンポの良い進行でした。一関二高が過去から未来へと繋がって行くストーリー仕立ては、まさに時代の節目となる当日にふさわしく、生徒たちが未来に向かって活力ある学校生活を期待させる明るく盛大な発表会となりました。

太鼓道場部
新曲作成・指導 披露

曲名 「息 吹」
作曲者 中西 亜由 所属：和太鼓・梵天
(2001年 岩手県立一関第二高等学校普通科卒業)



進行役の演劇部



音楽部の発表



吹奏楽部の発表

創立110周年記念事業 祝 賀 会

ベリーノホテル一関に会場を移し祝賀会が開催されました。一関市長の勝部修様をはじめ多くの来賓の出席のもと盛大に執り行われました。また、アトラクションとして『時の太鼓顕彰会』による演奏が行われました。この団体には多くの同窓生が在籍し活躍しており、地元貢献する同窓生や本校に対する期待の高さを再認識する場にもなりました。これらの声に答えられるよう生徒共々一生懸命邁進して行く所存です。



同窓生も多く在籍する『時の太鼓顕彰会』



カンパニー！





ご 挨拶

同窓会長 梶 山 隆

同窓会会員の皆様には、常日頃より同窓会活動に御協力を頂き感謝を申し上げます。

今年は一関二高の110周年の年にあたり、5月13日(土)に一関文化センターで記念式典を開催しました。この10年間の二高の活動を振り返りながら、今後の益々の活躍を願った所であります。又、式典終了後には記念事業として、音楽部・太鼓道場部・吹奏楽部の発表を聴き、迫力ある生徒達の演奏に参加者全員が大きな感銘を受けました。この様な生徒達に対し、同窓会としても今後益々支援をして行かなければという思いを強くした所であります。

その後の記念祝賀会を盛り上げてくれたのは「時の太鼓顕彰会」の皆様でした。夏祭りでも活躍する顕彰会メンバーの中にも二高の同窓生が多数活躍しており誇りに感じました。この思いを受けながら、6月24日

(土)に定期総会を「ホテルサンルート一関」で開催しました。議事では若い卒業生の出席をより多くして行く為、参加費の助成する年代を増やす事や、会則の改正等を上程し、賛成多数により可決され今後の同窓会活動に生かしたいと考えております。今年度110周年を迎えるに当たり、昨年「同窓会活動協力金」としてご協力をいただき、全会員への同窓会報を発送することができました。協力金の詳細は決算の資料をご覧ください。今年も昨年からの継続事業として、希望する全会員に会報を発送いたします。昨今の少子化に伴いまして、来年度から新入生が1学級40名減少する事となり、同窓会から生徒の活躍へ支援するための原資と同窓会そのものの運営が厳しくなる事が予想されます。今年度も「母校応援金」として趣意書を同封します。会員の皆様一人一人の御支援・御協力をより一層お願い申し上げます。



ご 挨拶

校 長 及 川 晃 行

本校同窓の皆様には日頃より教育活動の振興にご理解、ご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

また、5月13日(土)に挙行させていただいた創立110周年記念式典及び祝賀会におきましては多大のご支援とご協力を賜り、まことにありがとうございました。

皆様のご支援のもと盛会裏に式典を終了させることができ、教職員・在校生一同改めて本校の歩みと伝統校としての誇りを感じることができました。

式典は終了いたしました。年度内での文化部の110周年記念定期演奏会や二高祭、記念小史の発行など今後も関連事業を積極的に推進してまいりたいと考えておりますので、折に触れ、更なるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、110周年を契機に本校の歴史を改めて振り返ると、明治創立の県内公立高校は15校で現在の公立高校66校の中でも12番目の伝統を誇る学校であり、3万人になろうとする同窓の皆様のご活躍は言うに及ばず、一

関に二高ありとの実績は今を受け継ぐ私たちにとっても心引き締まる歴史であります。

式典の式辞にも触れさせていただきましたが、総合学科一関二高は、「自主の心、意志の力、創造の意欲」の校訓のもと、創立60周年記念事業で建設された校門の、正面左に象徴される高遠なる理想と永遠なる発展、右に象徴される幅広く重厚なる人生と着実なる実践力、そして、その上に据えられた球体に象徴される円満に琢磨された人格と知徳行合一の調和を目指す校風づくりを目指し、今後も皆様の母校の発展と充実に向け真摯に取り組んでまいりたいと決意したところであります。

今後においてもこの建学の精神を基調とし、生徒一人ひとりの夢や希望を大切にして、地域の人材育成の要請に応えてまいりたいと考えております。

どうか同窓生の皆様にも本校教育活動に対し、これまで以上の支援を賜りますようお願い申し上げます。会報発行に当たってのご挨拶といたします。

平成29年度総会

平成29年6月24日(土) ホテルサンルート一関にて同窓会総会が開催されました。総会参加者は66名となりました。開会のアトラクションでは音楽部が新しいアレンジを加えた校歌を披露され、多くの参加者が聴き入っていました。総会に先立ち本会員の物故者に黙祷が捧げられました。槻山同窓会長、及川晃行校長のあいさつ後、議長選出においては事務局一任の声により当番幹事の千葉俊さん(昭和55年卒)、阿部晋さん(平成2年卒)のお二人に。議事録署名人を熊谷嘉啓さん(昭和55年卒)、菅原真理子さん(平成2年卒)のお二人に委嘱し、議事進行が行われました。平成28年度事業経過報告から始まり、その後議事が行われ、議案については概ね事務局提案の通り承認されました。

今回の総会では事務局より－(役員)第5条の第2項第3号、役員選任にかかわる同窓会会則の改正について－提案され、承認を頂きました。現行、「理事は委員の中より会長が委嘱する」とあったものを、改正案として「理事は会員の中より会長が委嘱する」と提案されました。今回の提案の理由として、委員とは卒業時に各クラスから2名、地元に残るであろう人をお願いしています。しかし、地元に住まない、連絡がつかないなどの理由があります。理事は総会に代わり、重要な事項を審議する機関です。理事会の充実を図りたいという思いがあり、地元にいる会員の方をお願いしたく会則改正を提案した事になります。本総会で承認を頂いたため、この会則は平成29年6月24日から施行となります事を報告いたします。

今年度は、新会員・若い年代の参加があまりありま

せんでした。出来るだけ負担を減らし、若い年代の参加者を募るため同窓会懇親会の参加について、今までは「卒業後2年間は会費無料」で参加出来ていたものを、「卒業後2年間は会費無料・3～5年間は会費半額」で参加できるようにしました。更なる参加者の拡充と盛況の場となりますよう事務局一同努力いたします。皆様のご協力と貴重なご意見をお寄せいただければ幸いです。



同窓会役員

(H28.29)

役職名	氏 名	卒 業
会 長	槻 山 隆	農高S45卒
副 会 長	鈴 木 信 子	二高S42卒
	千 葉 弘 毅	二高S45卒
	伊 藤 晋	二高S54卒
	石 川 聖 浩	農高S60卒
監 事	阿 部 元 男	二高S42卒
	木 村 孝 男	農高S44卒
	佐 藤 裕 一	二高S53卒

支部役員一覧

役職名	氏 名	卒 業
仙 台 支 部 長	伊 藤 善 雄	二高S42卒
仙台支部事務局長	猪 股 恭 四	二高S48卒
盛 岡 支 部 長	大 野 秀	二高S35卒
盛岡支部事務局長	阿 部 俊 雄	二高S42卒
関 東 支 部 長	吉 廣 克 之	二高S34卒
関東支部事務局長	曾 部 篤 治	二高S44卒
千 厩 支 部 長	熊 谷 清 子	高女S20卒
千厩支部事務局長	永 沢 孝 子	高女S24卒

懇親会の様子



小岩幹事長あいさつ



阿部副幹事長



司会のICNアナウンサー 大沼佐樹子さん



ちびっ子フラダンス



フラダンス



平成29年6月24日(土) ホテルサンルート一関にて同窓会総会後に行われた懇親会では、来賓の皆様をはじめ、役員や会員、当番幹事の方々を合わせて多数の参加がありました。

今年は平成2年卒の同窓生が在籍するフラダンスと昭和55年卒の同窓生OGの女性ボディビルダーによる余興が行われ、会場一帯となり大いに盛り上がりを見せました。余興後も、近況を話す人、思い出話に花を咲かせる人、二高のこれからについて話す人、様々な年代を交えて親睦を深め、楽しんでいました。今年は岩手県立一関第二高等学校創立110周年記念事業があり、生徒の発表・活躍を見て聞いてくれた方々は「太

鼓を見てみたかった・吹奏楽の演奏を聴きたかった」等々、生徒の活躍を見たいと言う声や記念事業での発表は素晴らしかったという声も聞こえてきました。

在校生の話しのほかにも最近卒業した新会員・若い年代の同窓生の参加を望む声や話しを聞きたいという話題も上がっていました。今後も活動していきますので、今回残念ながら参加することが出来なかった方、参加を迷っている若い年代の方、今よりもっと多くの方々の参加を心待ちにしております。

最後になりましたが、今回の総会・総会懇親会にご協力くださった方々、参加していただいた方々に感謝申し上げます。

平成28年度 同窓会会計決算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
1 会 費	2,796,300	2,760,810	△ 35,490	390円×7,079件
2 入 会 金	1,190,000	1,185,000	△ 5,000	5,000円×卒業生237名
3 繰 越 金	2,079,819	2,079,819	0	平成27年度繰越
4 雑 収 入	800,881	1,814,452	1,013,571	預金利息、過年度収入、記念事業積立金より80万円、寄付口座より100万円
合 計	6,867,000	7,840,081	973,081	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備 考
1 事 務 費	50,000	24,443	25,557	事務用品、インク代
2 通 信 費	400,000	110,118	289,882	各種案内状発送郵券代
3 会 議 費	600,000	388,618	211,382	総会、理事会、諸会議等
4 慶 弔 費	70,000	26,735	43,265	慶弔等
5 旅 費	500,000	384,280	115,720	支部総会参加旅費等
6 事 業 費	3,700,000	3,393,589	306,411	HP運営費(レンタルサーバー保守更新料含)、ハガキ印刷、封筒印刷、卒業記念品、クリアファイル作成、同窓会報印刷(704,000円)、新入会員総会参加補助(関東12名、本部3名)、封筒印刷・発送(1,657,655円)
7 支部補助費	500,000	500,000	0	各支部活動補助(盛岡・仙台支部各15万円、関東支部20万円)
8 部活動助成金	750,000	650,200	99,800	全国・東北大会出場等の補助、大会・定期公演等の広告掲載等
9 部活動奨励費	250,000	140,500	109,500	同窓会表彰等
10 環境整備費	0	0	0	
11 記念事業積立金	0	0	0	
12 雑 費	20,000	4,552	15,448	振込手数料
13 予 備 費	27,000	0	27,000	
合 計	6,867,000	5,623,035	1,243,965	

3 収支決算額

収入額 7,840,081 - 支出額 5,623,035 = 次年度繰越金 2,217,046

平成28年度 同窓会特別会計(積立金)決算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
1 積 立 金	0	0	0	
2 繰 越 金	3,601,604	3,601,604	0	記念事業積立金
3 雑 収 入	596	764	168	利息
合 計	3,602,200	3,602,368	168	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備 考
1 繰 出 金	800,000	800,000	0	同窓会一般会計繰入
合 計	800,000	800,000	0	

3 収支決算額

収入額 3,602,368 - 支出額 800,000 = 次年度繰越金 2,802,368

平成28年度 同窓会寄付受付口座決算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
1 寄 付 金	0	2,423,000	2,423,000	寄付件数709件 ※3月27日現在
2 繰 越 金	184,496	184,496	0	平成27年度繰越
3 雑 収 入	0	0	0	
合 計	184,496	2,607,496	2,423,000	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備 考
1 繰 出 金	0	1,000,000	△ 1,000,000	同窓会一般会計へ操出
2 雑 費	0	38,890	△ 38,890	振込手数料
合 計	0	1,038,890	△ 1,038,890	

3 収支決算額

収入額 2,607,496 - 支出額 1,038,890 = 次年度繰越金 1,568,606

平成29年度 同窓会会計予算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 会 費	2,683,200	2,796,300	△ 113,100	390円×10回×688人
2 入 会 金	1,195,000	1,190,000	5,000	5,000円×3年生239人
3 繰 越 金	2,217,046	2,079,819	137,227	平成28年度繰越
4 繰 入 金	1,068,606	0	1,068,606	同窓会寄付受付口座より
5 雑 収 入	148	800,881	△ 800,733	預金利息 等
合 計	7,164,000	6,867,000	297,000	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 事 務 費	50,000	50,000	0	事務用品、コピー代等
2 通 信 費	400,000	400,000	0	各種案内状発送郵券代等
3 会 議 費	600,000	600,000	0	総会・理事会・諸会議等
4 慶 弔 費	70,000	70,000	0	弔電等
5 旅 費	500,000	500,000	0	支部総会参加旅費等
6 事 業 費	3,700,000	3,700,000	0	HP運営費(レンタルサーバー保守更新料含)、同窓会報・その他印刷、卒業記念品、クリアファイル作成、新入会員総会参加補助等、同窓会報発送料
7 支部補助費	500,000	500,000	0	各支部活動補助(盛岡・仙台支部各15万円、関東支部20万円)
8 部活動助成金	1,000,000	750,000	250,000	全国・東北大会出場等の補助、大会・演奏会等の広告掲載等
9 部活動奨励費	300,000	250,000	50,000	同窓会表彰等
10 記念事業積立金	0	0	0	
11 雑 費	20,000	20,000	0	振込み手数料等
12 予 備 費	24,000	27,000	△ 3,000	
合 計	7,164,000	6,867,000	297,000	

平成29年度 同窓会特別会計(積立金)予算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 積 立 金	1,972,500	0	1,972,500	同窓会寄付受付口座より
2 繰 越 金	2,802,368	3,601,604	△ 799,236	平成28年度繰越
3 雑 収 入	32	596	△ 564	利息
合 計	4,774,900	3,602,200	1,172,700	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 操 出 金	0	800,000	△ 800,000	
合 計	0	800,000	△ 800,000	

平成29年度 同窓会寄付受付口座予算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 寄 付 金	1,500,000	0	1,500,000	
2 繰 越 金	1,568,606	184,496	1,384,110	平成28年度繰越
3 雑 収 入	0	0	0	
合 計	3,068,606	184,496	2,884,110	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増減 (A) - (B)	備 考
1 繰 出 金	3,041,106	0	3,041,106	同窓会一般会計へ(1,068,606円) 同窓会特別会計積立金へ(1,972,500円)
2 雑 費	27,500	0	27,500	振込手数料
合 計	3,068,606	0	3,068,606	

夢のような55年同期会

昭和55年3月卒 伊 藤 克 彦

同窓会、総会終了後、55年卒業生による同期会が同じ会場のサンルートで6時過ぎから開催されました。約50名の参加でした。恩師は、3年B組担任の東郷先生がいらっしゃいました。私は、3時過ぎの同窓会の懇親会から参加していたので一人で盛り上がっていました。なんと同期会で50年ぶりに話した人もいました。保育園での話がとても楽しかったです。また、ボディビルの発表、ギターの弾き語りなどもあり、みなさんも盛り上がっていました。

何回かの話し合いには、「あれからもう10年か。」そんなことを考えながら準備の話し合いに参加しました。この歳になると、前やったことをすっかり忘れてしまっていました。いろいろなことがありましたが、和気藹々とみんなと楽しみながらできて良かったと思います。また、今回は、平成2年卒の皆さんという話し合いながら余興を考えるのがとても楽しかったです。後輩の皆さんにはいろいろ無理を言っ

てすいませんでした。

また、余興を気持ちよく引き受けてくださった皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。（私は、応援団長として校歌の手の動かし方ができず情けなかったです。）

今考えれば、同期会は夢のようなひとときでした。

私は、今回のさまざま取り組みを通していろいろなことを学びました。そして、二高の先輩、後輩、同級生とのふれあいの中で元気をもらいました。また、二高の同窓会担当の方々には、いろいろご苦勞をかけました。皆さん、本当にありがとうございました。

私は、この原稿を書きながらあらためて「二高が大好きなんだなあ。」と思いました。きっと心のよりどころなんですね。

最後にこれからの一関二高のますますの発展を願いたいと思います。



二高平成2年同期会

平成2年3月卒 野 澤 知 美
(旧姓千葉)

何をやっていいのかわからず幹事を引き受けてしまい、何回かの打ち合わせをしたものの、不安のまま当日を迎えてしまいました。

定期総会では予算などの難しい話で・・・すいません。寝てしまいました。

その後の懇親会では、留美ちゃん、円美ちゃん率いるフラダンス！ 55年卒のお姉さんのボディビル！！ とてもステキで、カッコよかった！！

また、一関テレビアナウンサーの大沼佐樹子ちゃんの名司会は、あっぱれでした。皆さんお疲れ様でした。

場所を居酒屋まるたに移しての同期会。たった12名での参加でした。なんと男性の卒業生は阿部晋君ただ一人。ちょっと寂しかったかなあ。

及川昌三先生、小野寺弘行先生、2名の恩師を囲み、和気あいあいと過ごすことができました。小野寺先生は相変わらず、野球命！昌三先生の孫の事を話す顔は、優しいおじいちゃんになってました。

やはりこの年になると出てくる話題は、病気の話、介護の話、子供の話……。10年後にはまた元気で会いたいものです。

また、当時の学校の先生の裏事情も小野寺先生から聞くこともでき、みんなで大笑いしました。あっという間の楽しい時間でした。

また10年後に同期会があります。その時には今年の反省点を活かしながら、たくさんの人達に参加して頂き、再会できるのを楽しみにしています。

無事に終わってよかったです。ご協力頂いたみなさん、本当にお疲れ様でした。



及川昌三先生

小野寺弘行先生

農高平成2年同期会報告

同窓会、総会の終了後、農高平成2年卒業生による同期会が豊隆会館を会場に開催されました。

お忙しい中、千葉正志先生・伊藤マサ子先生にもお越しいただき、約30名の同級生が集い懐かしさと和やかな雰囲気では進行していきました。当時の高校生活を振り返ってみますと、制服がブレザータイプに一新されると共に校舎や農場管理室棟が新しくなっていく時代を過ごしてまいりました。高校生という多感な時期を多くの仲間たちと楽しんだり、ぶつかりあったり、何かを成し遂げることに努力した3年間だったように思います。

さて、話題を同期会の様子にもどしていきましょう。千葉正志先生・伊藤マサ子先生よりご挨拶をいただきました。気持ちは一気に高校生の頃に引き戻された(?) 時間でした。お二人ともこの日を楽しみにしていたということでも嬉しく思いました。そ

平成2年3月卒 松 島 悦 子
(旧姓小岩)

の後は参加者全員の自己紹介と近況報告に。卒業して27年も経ちますから、興味津々で皆の報告を聞き入りました。高卒からずっと同じ職場で頑張っている人もいました。介護職員・建設業・看護師・専業主婦等々。立場は違えどそれぞれの立場で頑張っている様子が報告されました。

最後になりますが、今回の同期会を開催するにあたり学年の理事さんを中心にそれぞれのクラス幹事のみなさんが、忙しい時間の中で企画・会場とのやりとり・ハガキの作成発送など事務的な業務から当日の運営までを滞りなく進めていただいたことに感謝申し上げます。

農高平成2年卒業生のみなさん。次回10年後の同期会でお会いしましょう。それまでは少しずつでも繋がりをもち続けていきましょう。楽しみにしています。



恩師の千葉正志先生



恩師の伊藤マサ子先生を囲んで



平成28年度関東支部総会・懇親会開催

関東支部 事務局長 曾 部 篤 治

(昭和44年3月普通卒)



平成28年9月24日(土)、関東支部の会員による総会・懇親会を東京大手町サンケイプラザにて開催し、大勢の同窓生方に出席賜り交流を深めました。

特に平成24～28年3月卒業の若きメンバー10名の出席には盛り上がり、次回の再会を楽しみに乾杯となりました。

総会では、吉廣克之支部長(昭和34土木卒)の開会の挨拶、そして槻山隆同窓会長(昭和45農業卒)より一関地域の現況と及川晃行学校長より高校の活動状況等報告が有り、関東に住む会員の方々は内容にうなずきながら耳を傾けておられました。懇親会は今回も“田舎の言葉で語ろう会”会長の森下みさ子さん(昭和41年3月普通卒)の挨拶で始まり、会場は盛り上がり交流会スタートとなりました。卒業年度別の記念写真やビンゴゲームを楽しみ一関特産品ゲットにも盛り上がったところです。

日本大学在学の白石絵里さん(平成25年3月総合卒)が2016フェンシングワールドカップ中国大会へ出場する活躍ぶりの中で、本人も当日出席でしたので会員有志によるカンパ金83,000円を贈呈させて頂きました。

これからも支部では若き会員の支援活動に取り組みます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

今回の総会・懇親会の会場に「東日本大震災から5年」と題した色紙展も同時開催し、会員よりの作品を掲示それぞれの想いを語り合う様子が印象的でした。

岩手県人連合会へ関東支部として団体加盟しておりますが、これからも岩手支援の協力と創立110周年を迎えた母校の益々の発展を支部会員一同申し上げます。

終わりに26年総会で募集した「高校時代の思い出川柳」を創立110周年特別企画としてお贈りします。

平成29年の開催は、9月30日(土)です。

今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成29年9月30日(土)
13:00～16:30(受付12:00～)
- ◎会場：大手町サンケイプラザ3階
(東京サンケイビル内)
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費：8,000円(当日会場にて承ります)

※平成28・29年3月卒の方は会費無料です。
※平成25～27年3月卒の方は会費半額負担です。

◎お問い合わせ・その他

関東支部事務局長 曾 部 篤 治 (S44普卒)
TEL/FAX 04-2923-5496

創立110周年記念企画 高校時代の思い出川柳

通学列車の窓から入る煙りにむせぶ目に涙
同窓会墓場でやれば勢揃い
歴史変わる女の校舎に男くる
恩師をばツンコサンペイと仲間呼び
腹もたず帰路は近くのパン屋さん
下校時に鼻緒が切れたどうしようか
磐井の土手なびくセラー目が泳ぐ
とし重ねますますつのる友の顔
いつだっけ忘れてしまう卒業年
遅れまい汽笛と共に走る朝
同窓会互いに生存確認す
懐かしき便りに思わず出席と
夏休み返上ア・ア・ア・アの音楽部
蛮輩の腰に手拭高下駄通い
清き流れの磐井川上と下で片恋橋
大仮装行列花嫁の婿選びに三人名乗り(土木部例)
先生のあの一言がこの人生？
青春の思いを映す磐井川
仮装して笑い合う友健やかか？
S・Lの汽笛なつかし今もなお
同窓会出欠理由に四苦八苦
熱き心優勝したあの日在りて(陸上リレー・団体連して)
汽笛鳴るデッキへ駆け込む隧道越えて一関
残念だ一人手前で曲終わる(フォークソングの恨み節)
乗り遅れ次の汽車まで一時間(山汽車)
山汽車でなつかし母校の姿見ゆ
なつかしい下駄履き通い上の橋
偉そうに張り合うおしゃれも通販グッズ
同窓会ヒダを埋め込む厚化粧
いつの日も学園ソング口ずさむ
同窓生みんな恩師にみえてくる
秘めたことみんな言いたい同窓会
早弁して昼はパン買っ女子クラス

昭22年女商卒	金子	ひて子
昭26年農業卒	千葉	春雄
昭27年普通卒	佐々木	範子
昭28年普通卒	柏木	えつ子
昭29年普通卒	鈴木	俊
昭30年土木卒	千葉	林蔵
昭30年農業卒	松田	稔
昭31年普通卒	佐々木	正治
昭31年普通卒	西村	哲子
昭31年普通卒	菅原	勇吾
昭31年普通卒	佐々木	義身
昭31年普通卒	菅原	治子
昭31年普通卒	筒井	房子
昭31年普通卒	佐藤	政光
昭32年普通卒	小池	京子
昭32年普通卒	小池	京子
昭32年土木卒	菅原	信男
昭33年普通卒	佐藤	裕
昭34年普通卒	伊藤	明子
昭34年土木卒	吉廣	克之
昭34年土木卒	千葉	新平
昭34年土木卒	石井	亮子
昭34年普通卒	千葉	二三夫
昭37年土木卒	鈴木	捷之
昭37年土木卒	佐々木	諭
昭37年土木卒	菊地	政男
昭38年普通卒	佐々木	三郎
昭38年普通卒	大出	徳子
昭38年普通卒	佐藤	誠
昭38年普通卒	天笠	民子
昭38年普通卒	菅原	孝子
昭38年普通卒	河野	弘子
昭38年普通卒	星	好

早弁し机に伏すやチョコク飛び
火の粉ふり持出し迷った内申書(赤忠)
銀杏の木我が絆とも言うべしや
クラブ終え上の橋鯛焼までの東下り
試験終え映画館にまっしぐら
ケイタイもスマホも無いが良き時代
書道部や夏合宿の肝試し
校舍燃えプレハブ授業二年間
音楽部朝昼帰り声を出す
炎天下水も飲まずに陸上部
白球を追いつ汗と涙の下宿生
学割のラーメン食べに橋たもと
向かい風と遅刻の理由友が言う
公欠がぬか喜びに通信簿
ブルマーのままでセクハラ砂嵐(走り幅跳びで)
新校舍最初の授業は石拾い
クロールの県大会二位になり
新校舍磐井の川波夢希望
山汽車の始発に遅れおこられた
いざ行かん机運んで新校舍
部活終え闇にとけこむ「オス」の声
クラス会食後は孫の自慢会
我が心あの日の乙女夢みがち
ブラバンの音聞きながら着替える(バレー部)
同窓会会って五分で花が咲く
磐井川はじける水面踊る声
ああ懐かしや旭に萌ゆる須川岳
女子クラス派手に楽しかった思いよみがえる
同汽車のあこがれの彼は他校生
授業中よこみち脱線ありがとう
五月晴れ窓外声にときめいて
新任の頬が赤らむ女子クラス

昭39年土木卒	菅原	邦彦
昭40年普通卒	吉田	昌介
昭41年普通卒	齋藤	峯子
昭41年普通卒	佐々木	邦子
昭41年普通卒	佐野	志津子
昭41年普通卒	森下	みさ子
昭42年普通卒	白石	志美子
昭42年普通卒	鈴木	信子
昭42年普通卒	長谷川	邦子
昭43年普通卒	吉野	恵美子
昭44年普通卒	高橋	盛
昭44年普通卒	菊地	順男
昭44年普通卒	仲野	美代子
昭44年普通卒	大棒	京子
昭44年普通卒	大棒	京子
昭44年普通卒	曾部	篤治
昭45年普通卒	葉山	恵子
昭45年普通卒	江野	幸子
昭45年土木卒	瀬山	孝司
昭45年普通卒	石倉	睦美
昭45年普通卒	千葉	弘毅
昭45年普通卒	佐藤	弘子
昭46年普通卒	吉田	美津子
昭46年普通卒	菅原	和子
昭47年普通卒	清水	徳子
昭47年普通卒	藤代	光子
昭47年土木卒	千葉	文男
昭48年普通卒	木下	金子
昭48年普通卒	高橋	のぶ子
昭48年普通卒	遠藤	文子
昭49年土木卒	千田	馨
昭50年普通卒	篠山	幸子

平成28年度盛岡支部総会・懇親会開催

前盛岡支部長 相原 栄 司

(昭和35年3月卒)



■ 新支部長に大野秀氏 (昭和34年卒) を選出

平成28年度の盛岡支部総会・懇親会が10月15日(土)盛岡市内のホテルニューカーリーナに於いて開催されました。参加者は28名でした。

総会は、佐藤副支部長の司会のもと盛岡支部長挨拶、同窓会本部の槻山会長、太田副校長から、同窓会の活動や学校の現状と在校生の活躍ぶりについて報告、紹介がありました。

続いて、小綿会員を議長に選び議事が進められ各議案とも原案どおり決定されました。

役員改選では、相原支部長が退任し、大野秀(昭和34年卒)さんが新支部長に選任されました。

以上で総会は終わり、続いて阿部事務局長の進行のもと懇親会が行われ、福引と一人一人の近況報告があり大いに盛り上がりました。

約2時間の懇親会も、小川さんの指導と新妻伸也(昭和57年卒、初参加)さんのエールによる校歌斉唱でお開きとなりました。

盛岡支部は、昭和58年に結成されましたが途中休止状態の時期があり、平成11年9月18日に14年ぶりに復活しました。

支部の役員は、支部長に鹿野英良(昭和28年卒)さんが就任し新しいスタートをきりました。そしてその時に私も副支部長に選任され何もわからずに頑

張ってきましたが、平成20年度の役員改選で支部結成以来支部長を務められた鹿野英良さんが退任されたため、私が新支部長に選任され、平成21年度から4期8年にわたり努めさせていただきました。力不足の私が、副支部長、そして支部長までも務められたのは、ひとえに、会員の皆様、同窓会本部の皆様、学校当局のご支援とご協力のおかげと感謝しております。

そして、支部の役員、幹事の皆様、特に阿部事務局長の仕事ぶりに大いに支えていただきましたことに心から感謝しております。本当にありがとうございました。

今後とも、盛岡支部発展のために皆様のご協力をここからお願い致します。

今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

◎日時：平成29年10月14日(土)
12:00～(受付11:30～)

◎会場：ホテルニューカーリーナ
岩手県盛岡市菜園2-3-7
TEL 019-625-2226

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)

※平成28・29年3月卒の方は会費無料です。
※平成25～27年3月卒の方は会費半額負担です。

◎お問い合わせ・その他

盛岡支部事務局長 阿部 俊 雄 (S42普卒)
TEL 019-635-1592

平成28年度仙台支部総会・懇親会開催

支部事務局長 猪 股 恭 四

(昭和48年3月普通卒)



平成28年10月21日にパレスへいあんにおいて、総会、懇親会が開催されました。

同窓会本部からは槻山会長、鈴木副会長、学校からは及川校長先生、事務局より2名の先生の出席をいただき、総勢25名での会となりました。

今回、3名の方から同窓会会報誌を見ての連絡をいただき、参加いただきました。事務局としても案内が行き届かないこともありますので、同窓会ホームページや会報を見ての申し出があるとありがたいです。

事務局より、今回の開催案内状で開催時期、曜日等のアンケートを取った結果について報告をいたしました。大きくは「従来通りの平日夕方」と「土、日の日中」とに集約されました。今後の開催にあたり、参考にさせていただくことといたしました。

総会の始めに、亡くなられた会員の方への黙とうをささげました。伊藤支部長の挨拶の中で、台風10号が岩手に大きな被害を及ぼしたことに触れ、被害者へのお見舞いの言葉がありました。槻山会長からは来年の110周年記念事業についての話をいただきました。及川校長先生からは在校生の活躍の話をいただきました。また、県立高校の再編計画に基づ

き1学級を減らすことになったとの話があり、少子化が進む中ではやむを得ないことと思いつつも、ちょっと寂しい思いでお聞きしました。

懇親会は、最年長者の昭和31年卒の遊佐敏明様の乾杯の音頭に始まり、大いに飲み、語らいの時間となりました。初参加の方のお話や歳祝いに該当された方の話などで盛り上がりました。また、余興として、最近の落語ブームに乗って、落語家長井亭あやめさんに一席語っていただきました。小話にはじまり、ネタは「天狗裁き」、プロの話

術に魅せられ、皆で聞き入りました。笑いは健康に良いと実感できた時間でした。

楽しい時間もたちまちすぎてしまい、39年卒業の佐々木義勝様の手振りによる恒例の校歌斉唱の時間となりました。佐々木様の変わらぬ声と体の切れには脱帽です。中締めとして34年卒業の相澤典明様に万歳三唱の音頭取っていただき懇親会のお開きとなりました。

来年の再会を語らいながら、三々五々二次会に、帰路にと会場を後にしました。

今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：平成29年10月21日(土)
18:30～(受付18:00～)

◎会場：TKPガーデンシティ
仙台市青葉区中央1-3-1
TEL 022-200-2611

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成28・29年3月卒の方は会費無料です。
※平成25～27年3月卒の方は会費半額負担です。

◎お問い合わせ・その他

仙 台 支 部 長 伊 藤 善 雄 (S42普卒)
TEL 022-358-7628
仙 台 支 部 事 務 局 長 猪 股 恭 四 (S48普卒)
TEL 022-379-6414

卒業生の進路 (合格者数)

平成29年3月31日現在

平成29年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	12	100	7
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校・大学校
	29	44	50
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	7	33	9

《進学》

〔国公立大学〕

岩手大学(1)、北海道教育大学釧路校(1)、北見工業大学(1)、山形大学(1)、岩手県立大学(5)、秋田県立大学(1)、釧路公立大学(2)

〔私立大学〕

岩手医科大学(3)、盛岡大学(4)、宮城学院女子大学(2)、尚絅学院大学(5)、石巻専修大学(3)、仙台大学(1)、東北学院大学(9)、東北工業大学(4)、東北生活文化大学(1)、東北福祉大学(13)、東北文化学園大学(5)、札幌大学(1)、北海道情報大学(1)、青森中央学院大学(1)、八戸工業大学(2)、いわき明星大学(2)、つくば国際大学(5)、亜細亜大学(1)、駒澤大学(3)、聖徳大学(1)、大東文化大学(1)、拓殖大学(1)、帝京大学(7)、帝京平成大学(1)、東京国際大学(1)、東京農業大学(1)、日本大学(6)、文化学園大学(1)、上武大学(1)、城西大学(2)、東都医療大学(1)、日本保健医療大学(1)、獨協医科大学(1)、城西国際大学(1)、中央学院大学(1)、麗澤大学(1)、鎌倉女子大学(1)、神奈川大学(1)、東海大学(1)、新潟医療福祉大学(2)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学宮古短期大学部(4)、山形県立米沢女子短期大学(1)、大月短期大学(2)

〔私立短期大学〕

修紅短期大学(10)、聖和学園短期大学(3)、仙台青葉学院短期大学(5)、東北生活文化大学短期大学部(3)、創価女子短期大学(2)、大妻女子大学短期大学部(1)、東京交通短期大学(1)、埼玉医科大学短期大学(1)、新渡戸文化短期大学(1)、鎌倉女子大学短期大学部(1)、日本大学短期大学部(1)

〔看護・医療系専門学校〕

JR東京総合病院高等看護学園(1)、一関准看護高等専修学校(1)、花巻高等看護専門学校(6)、岩手医科大学医療専門学校(1)、岩手看護専門学校(2)、岩手県立一関高等看護学院(8)、岩手県立宮古高等看護学院(1)、岩手県立二戸高等看護学院(1)、気仙沼市立病院附属看護専門学校(5)、国立仙台医療センター附属看護助産学校(1)、埼玉医療福祉会看護専門学校(1)、上尾中央看護専門学校(1)、神奈川県立衛生看護専門学校(1)、水沢学苑看護専門学校(5)、聖マリアンナ医科大学看護専門

学校(1)、仙台リハビリテーション専門学校(1)、仙台市医師会看護専門学校(1)、仙台徳州看護専門学校(1)、千葉労災看護専門部(1)、大崎市医師会附属准看護学校(1)、東北保健医療専門学校(3)

〔専門学校〕

県立農業大学校(1)、国際医療福祉専門学校一関校(2)、上野法律ビジネス専門学校(3)、盛岡カレッジオブビジネス(1)、盛岡医療福祉専門学校(1)、千厩高等技術専門学校(1)、大原スポーツ公務員専門学校盛岡校(1)、東北ヘアモード学院(5)、ファッション文化専門学校DOLEME(1)、仙台ウェディング&ブライダル(1)、仙台ヘアメイク専門学校(1)、仙台リゾート&スポーツ専門学校(1)、仙台医療秘書福祉専門学校(4)、仙台医療福祉専門学校(2)、仙台こども専門学校(1)、仙台総合ビジネス公務員専門学校(2)、仙台総合ベトナム専門学校(1)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(1)、大原公務員専門学校(1)、東京IT会計専門学校仙台校(1)、東京法律専門学校仙台校(3)、東北電子専門学校(2)、東北保健医療専門学校(1)、ESPミュージカルアカデミー(1)、ヒコ・みずのジュエリーカレッジ(1)、音響芸術専門学校(2)、東京ビジュアルアーツ専門学校(1)、日本外国語専門学校(1)、岩手県立産業技術短期大学校(4)、東北職業能力開発短期大学校(1)、盛岡中央ゼミナール(1)

《就職》

〔公務員〕

岩手県警察官B(2)、航空学生(1)、自衛官候補生(3)、自衛隊一般曹候補生(1)

〔一般企業〕

イワニチ高速オフセット印刷(1)、ANA FESTA株式会社(1)、SWS東日本株式会社(2)、TBCグループ(1)、イオンスーパーセンター株式会社盛岡本部(2)、一関信用金庫(1)、医療法人弘誠会 阿部医院(1)、いわて平泉農業協同組合(1)、岩手雪運株式会社(1)、株式会社 日ピス岩手(1)、株式会社岩沼屋ホテル(1)、株式会社大沢温泉(1)、株式会社カネボウ化粧品東北支社岩手支店(1)、株式会社京急ステーションサービス(1)、株式会社コナカ(1)、株式会社新鉛温泉(1)、株式会社貴一関工場(1)、株式会社ドウワーク(1)、株式会社長島製作所前沢工場(1)、合同会社しづか亭(1)、三光化成株式会社(1)、敷島製パン株式会社(1)、世嬉の一酒造株式会社(1)、東京エアポートレストラン株式会社(1)、東京急行電鉄株式会社(1)、栃木交通バス株式会社(1)、日本端子株式会社 花泉工場(1)、阪南理美容株式会社(1)、東日本旅客鉄道株式会社(2)、有限会社翠明荘秋保温泉蘭亭(1)

〔福祉関係〕

社会福祉法人 岩手福寿会(1)、社会福祉法人 柏寿会(1)、社会福祉法人 協和会(1)、社会福祉法人 幸生会(1)、社会福祉法人 衣川会(1)、社会福祉法人 千厩寿慶会(1)、社会福祉法人 つくし会関生園(1)、社会福祉法人 つくし会明生園(1)、医療法人 松田会松田病院(1)

同窓会入会式の様子

平成29年3月1日本校大講義室において、平成28年度同窓会入会式が挙行されました。237名の卒業生を代表し後藤優太君と高橋純郁さんが学年理事となりました。

皆さんの同窓会への入会を心から歓迎するとともに、これからのご活躍を祈念いたします。



卒業生数

卒業年次(3月)	合 計										
	県立一関高等学校西校舎										
	普通科 (昭和25、昭和26)										
	土木科 (昭和25、昭和26)										
	農業科 (昭和25、昭和26)										
	組合立一関農工学校併設中学校・市立一関農業高校農科 (昭和23、昭和24)										
	組合立一関農工学校併設中学校・市立一関農業高校土科 (昭和23、昭和24)										
	一関第二高校併設中学校・一関淑徳高女併設中学校 (昭和23、昭和25)										
	市立一関淑徳高等学校 (昭和23、昭和24)										
	町立一関女子商業学校 (昭和21、昭和22)										
	町立一関女子職業学校専攻科 (昭和12、昭和19)										
	町立一関女子職業学校 (昭和11、昭和20)										
	町立一関商業専修学校 (昭和3、昭和10)										
	町立一関商業補習学校 (大正15、昭和2)										
	県立一関高等学校 (大正12、昭和24)										
	県立一関実科高等学校 (大正9、大正11)										
	郡立西磐井実科高等学校 (明治45、大正8)										
	郡立西磐井女子職業学校 (明治41、明治44)										
	94	110	45	745	203	458	105				
	255	2,666	249	233	83	50					
	3,125				2,171						
昭和24	県立一関第二高等学校・旧制農工学校						26	24			
25								66	21	19	
26								255	39	33	
				5,346					433		
					5,779						

卒業生数 29,376

卒業年次(3月)	県立一関第二高等学校						県立一関農業高等学校						合 計
	普通科	福祉教養科	総合学科	土木科	農業科	生活科	農業科	生活科	園芸科	生活科学科	農芸科学科	合 計	
昭和27	98			39	49	186							
28	210			43		253							
29	250			43		293							
30	211			45	42	298							
31	259			41	43	343							
32	231			46	35	312							
33	259			44	39	342							
34	272			44	40	356							
35	262			43	38	343							
36	256			44	41	341							
37	262			44	41	347							
38	255			43	40	338							
39	232			39	36	307							
40	291			45	47	383							
41	310			42	44	396							
42	267			41	45	397							
43	314			40	40	479							
昭和44	315			38		353	45	84				129	
45	311			41		352	43	80				123	
46	306			42		348	46	84	40			170	
47	290			39		329	42	80	38			160	
48	267			39		306	39	80	29			148	
49	272			36		308	39	81	38			158	
50	276			39		315	37	82	36			155	
51	274			41		315	39	80	39			158	
52	266			40		306	36	86	39			161	
53	267			42		309	39	79	39			157	
54	269					269	37	83	37			157	
55	268					268	38	77	39			154	
56	264					264	41	84	42			167	
57	271					271	31	78	38			147	
58	273					273	40	79	39			158	
59	230					230	28	40	32			100	
60	229					229	37	40	29			106	
61	272					272	42	60	31			133	
62	271					271	38	38	34			110	
63	265					265	31	35	32			98	
平成1	278					278	32	34	29			95	
2	268					268	30		37	38		105	
3	271					271	42			43	42	127	
4	276					276	41			39	40	120	
5	229	45				274	33			41	42	116	
6	225	45				270	37			40	37	114	
7	231	45				276	40			41	40	121	
8	229	42				271	31			37	35	103	
9	228	40				268	33			41	41	115	
10	253	39				292	32			38	37	107	
11	200	40				240	36			39	34	109	
12	203	39				242	38			40	39	117	
13	210	39				249	36			36	40	112	
14	205	42				247	38			39	36	113	
15	203	41				244	37			38	40	115	
16	197	40				237	34			36	31	101	
						15,770				4,639			
						(新) 県立一関第二高等学校							
17	196	37								36	38	307	
18	161	40								39	39	279	
19			240									240	
20			243									243	
21			235									235	
22			233									233	
23			230									230	
24			236									236	
25			236									236	
26			237									237	
27			241									241	
28			234									234	
29			237									237	
						23,597							

平成29年度 一関二高同窓会年間行事計画

平成29年

4月7日(金)	入学式
10日(月)	同窓会会計監査(本校)
20日(木)	同窓会総会・懇親会第3回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)
24日(月)	同窓会第1回常任理事会(本校)
5月13日(土)	創立110周年記念式典 (一関文化センター)
	創立110周年記念祝賀会 (ベリーノホテル一関)
15日(月)	開校記念日
25日(木)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)
30日(火)	理事会(本校)
6月15日(木)	同窓会総会・懇親会第5回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)
24日(土)	同窓会総会・懇親会(サンルート一関) 当番幹事 昭和55年・平成2年3月卒
8月上旬	同窓会報No.14発行
26日(土)～ 27日(日)	二高祭
9月30日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会 (大手町サンケイプラザ)
10月中旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会 (サンルート一関) H29年度当番幹事 (昭和55年・平成2年3月卒) H30年度当番幹事 (昭和56年・平成3年3月卒)
14日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (ホテルニューカリーナ)
21日(土)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (TKPガーデンシティ)
平成30年	
2月上旬	同窓会常任理事会(本校)
3月1日(木)	同窓会表彰・入会式
2日(金)	卒業式
6月30日(土)	同窓会総会・懇親会(サンルート一関)

平成30年度 総会・懇親会のご案内

日 時 平成30年6月30日(土) 午後2時～
(予定)

会 場 サンルート一関(予定)

当番幹事 昭和56年3月卒 平成3年3月卒

会 費 5,000円(予定)

※平成29・30年3月卒の方は会費無料です。
※平成26～28年3月卒の方は会費半額です。

編集後記

季節の風物詩となりました!? 同窓会報をお届けいたします。

今回は母校の創立110周年を受け、記念式典や祝賀会の様子をお伝えするとともに、関東支部編纂の「高校時代の思い出川柳」を掲載しました。じっくり目を通しますと、作者のそれぞれの時代に時間旅行した気分になります。字余りはご愛嬌として、汽笛(今では発車ベル?)の音が甦ったり、早弁してお昼に食べたパンの味だったり、水も飲まずの取り組んだ炎天下の部活であつたり…。皆様のご感想は如何ですか。

後輩たちも当時の私たちと同じ様に、高校時代を突っ走っているように見えます。そんな彼ら、彼女らに同窓会として応援したいと思うこの頃です。(公)



編集委員

編集委員長	佐藤 公基
副編集委員長	須藤 光子
編集委員	菅原 隆幸
//	槻山 隆幸
//	大畑 真寿美
//	吉田 一博
//	長洞 義一